



## 市民活動サポートセンターの市による直営化問題

現在の指定管理者による運営から市の直営にする条例案が議員提出議案として提出され、自民党、公明党による賛成多数で可決されました。当会派は、反対を致しました。登録団体の問題が提起されていましたが、現行制度でも指定管理者の取り消しなども可能であり、直営にする必要はありません。また、公の機関の直営により、表現の自由やこれまで培ってきた官民協働の流れの制限につながる懸念があります。どのような活動を施設における市民活動として考えるのかについては、今後も検討の必要があります。議論は続きます。

### 小柳よしふみ 地域活動



#### 若者自立支援ルームの視察

家庭環境など困難を抱えている若者の自立への歩みを支援している施設であり、利用者也増えています。



#### 防災訓練への参加

地域の防災訓練は、多くの皆さんが顔を合わせて実際に動いてみるという点で重要です。



#### 敬老会への参加

本市の65歳以上人口の割合は、24.5%、30万人となりました。元気なシルバー世代の活力は、地域の財産です。



#### 宇都宮クリテリウムの視察

24回を迎える自転車のビックイベントです。プレイベント、ロードレースも含めた3日間で約10万人を動員とのこと。



#### がん撲滅運動リレーフォーライフ

がん対策の推進や、患者、ご家族、支援する皆さんが交流するイベントです。



#### 行財政公開審議の開催

市民意見を含めた検討をしたいというテーマを選んで行われ、重要なテーマに対する行政の考え方もよく分かります。



#### 若者の投票率向上に向けた視察

大学に投票所を設けたり、若者が投票率向上へ向けた取組みに参加している松山市、愛媛大学を視察。



#### 留学生日本語弁論大会

日本に対する率直な意見や、日本の良さを再確認できる素晴らしいイベントです。

### みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前

TEL

ご住所

このままFAXでご送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

## 小柳よしふみ

事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/



こやなぎ

# 小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート  
2015.11 vol.19小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233  
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

## 平成26年度決算認定も荒れた9月定例会

季節が秋から冬へと移る中、皆さまお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年に続き、日本から生理学・医学賞の大村智氏、物理学賞に梶田隆章氏とお二方がノーベル賞受賞の栄誉に輝きました。特に、梶田氏は埼玉大学理学部卒業ということで、本市とも所縁の深い方でもあります。一方で、大雨による洪水で茨城県常総市をはじめ栃木県、宮城県などで大きな被害がありました。犠牲になられた方々やまだ日常生活を回復できていない皆さまに、お悔やみとお見舞いを申し上げます。本市内でも岩槻区や緑区などを中心に浸水被害が報告されました。自然災害は避け難いが、備えによって減災することが出来ます。市内の災害予測マップなどを参考に、各地域の特性を理解したうえでの備えが必要です。また、地域の防災訓練に参加しておくことは良いことと考えます。

さて、さいたま市議会は、9月定例会が10月16日に閉会いたしました。浦和駅西口の地下通路整備工事費の随意契約議案を含む、一般会計補正予算や、平成26年度決算議案など、計32議案が可決、承認されました。今回から企業会計決算は、特別委員会としての審査となりました。一般会計、特別会計、企業会計の決算状況、国の財政健全化判断比率等の指数も良好な数値であり、健全財政を保っていると判断しています。

今定例会は、開会当初に上程予定の議案が追加上程になったり、市民活動サポートセンターの市の直営化への議案などで議論が割れました。今後に課題を残した結末であり、議論を続けていかなければならないと考えています。(関連記事参照)

日に日に寒さも深まっております。ご健康に留意され、お過ごし頂きますよう、お祈り申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年 浦和区にて第1位当選(2期目)。
- 保健福祉委員会、予算委員会 理事



毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭でお伝えしています。

### 1 2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム開催

10月24日(土)にさいたま新都心周辺にて開催。今年、ツール・ド・フランスで2度目の総合優勝をしたクリス・フルーム選手が出演。新城幸也選手、別府史之選手など欧州で活躍中の日本人選手も。障がい者の自転車競技であるパラサイクリングや大人気アニメ「自転車ペダル」とのコラボも実現。

### 2 浦和駅高架下「アトレ浦和」が開業

11月25日(水)にオープンする新ショッピング街は、食品スーパー、カフェ、惣菜、飲食店、雑貨店など30店舗。北口改札も新設され、07:00~24:15でSuica専用改札口となる。保育所は、来春4月1日(金)開業予定。

### 3 11月15日(日)第1回さいたま国際マラソンの開催

フルマラソンは、日本代表チャレンジャー、持ちタイム4時間以内の選手が出場資格のあるレース。リオデジャネイロ五輪女子マラソン代表選考レースでもある。市民ランナーは1.5Km、3Kmであるが、今後はフルマラソンへの市民参加も検討が必要。

### 4 浦和駅中ノ島地下道の計画が進む

地元からご要望があり、議会でも実現へ向けた決議をした案件の工事委託契約議案が可決された。アトレの西口駅前ビルの建設に伴って、工事が進められる。中ノ島と駅が直結され、特にバス利用者にとっての利便性が向上する。



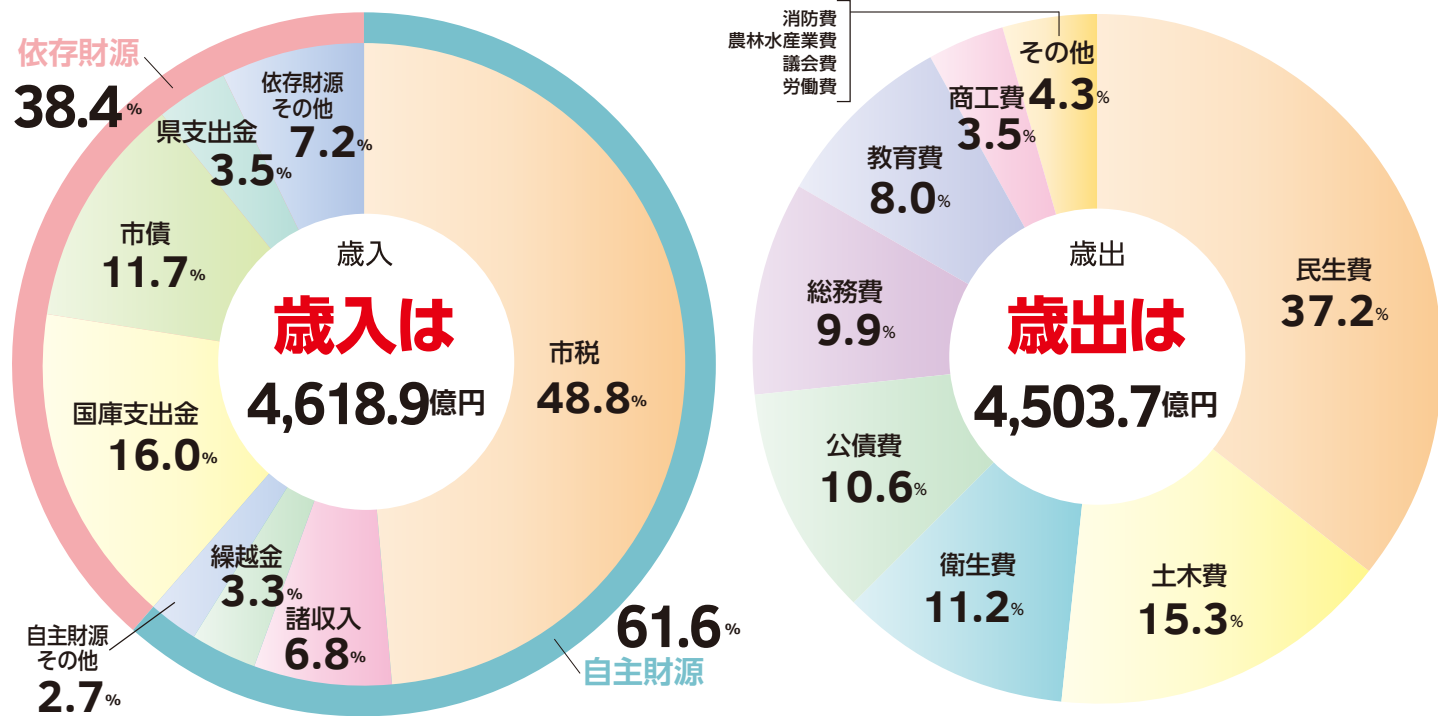
さいたま市平成26年度一般会計決算報告

# 決算のポイント

- さいたま市誕生以来、最大の決算規模
- 翌年度へ繰り越すべき財源は、前年度比33億15百万円、37.1%減
- 実質収支は、さいたま市誕生以降、連続して黒字
- 単年度収支は、2億5百万円の赤字
- 市税収入は、個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税増等により59.9億円、2.7%の増加
- 民生費は、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金、民間保育所等運営事業等の増により128.8億円、8.3%の増加

<図1>

| 区 分            | 平成26年度    |
|----------------|-----------|
| ① 予算現額         | 4885.4 億円 |
| ② 歳入決算額        | 4618.9 億円 |
| ③ 歳出決算額        | 4503.7 億円 |
| ④ 歳入歳出差引額(②－③) | 115.2 億円  |
| ⑤ 翌年度へ繰り越すべき財源 | 56.3 億円   |
| ⑥ 実質収入額(④－⑤)   | 58.9 億円   |
| ⑦ 前年度実質収支額     | 60.9 億円   |
| ⑧ 単年度収支額(⑥－⑦)  | ▲2.0 億円   |



小柳の注目点

- ✓ 財政健全化判断比率も良好で、概ね健全財政
- ✓ 歳入に占める市税収入の割合が48.8% (前年比0.3ポイント減)と減少傾向
- ✓ 財源構成についての将来ビジョンと政策の連携が重要
- ✓ 将来世代へ過度な負担をかけない 受益と負担の整合性のある財政運営

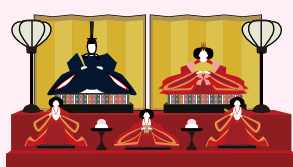
|                                        |                                       |
|----------------------------------------|---------------------------------------|
| <b>民生費</b><br>福祉サービスなどの充実を図るために使われる費用  | <b>教育費</b><br>学校教育や社会教育・体育施設などに使われる費用 |
| <b>土木費</b><br>道路や公園、下水道・河川などに使われる費用    | <b>衛生費</b><br>ごみ・汚物処理や健康対策などに使われる費用   |
| <b>総務費</b><br>市政の運営や選挙費・統計調査費などに使われる費用 | <b>商工費</b><br>産業、地域の発展・宣伝などに使われる費用    |
| <b>公債費</b><br>借入金の返済などに使われる費用          | <b>消防費</b><br>防災や消火活動・救急救命などに使われる費用   |

予算委員会から

・一般会計補正予算

旧岩槻区役所跡地にかかる機能配置調査検討、岩槻人形会館整備事業アドバイザー等業務

平成27年度～平成28年度  
債務負担行為 7千万円



旧岩槻区役所の跡地や人形会館予定地、現在一部を区役所として活用している駅前ワッツビルの今後についてなど、街としての将来ビジョンをしっかりと固めて行くことが重要である。人の回遊なども考慮したうえで、そのための調査業務が進められる。

保健福祉委員会から

## 小柳よしふみ

から今後の施策に関する質疑や提言

### 1 高齢者の貧困問題への対策について

Q高齢者世帯の貧困という点についての現状認識と、行政としての対策を問う

A経済的な困窮状態にある高齢者の増加は認識している。生活保護を例に挙げると、その他の世代は横ばいか減少の一方で、高齢者世帯の増加傾向が顕著である。区役所などの生活再建についての相談窓口を活用して欲しい。



**小柳の視点** 生活保護世帯に占める高齢者世帯の割合は、平成24年度36.9%、平成25年度39.1%、平成26年度41.3%というように急増。生活困窮者の問題の中心は、高齢者世帯にあることを認識した対策が必要である。

### 2 地域の歯科口腔保健の充実について

Q寝たきりの高齢者や障がい者など、一般の歯科医院では対応できないようなケースも増えている。歯科口腔保健センターの設置など、市としての対策を求める。

A埼玉県障害者歯科相談医制度により、応急措置、予防措置ができるよう地域の歯科医師を養成している。対応できない患者に対しては、県内5か所の県立の専門診療所及び県歯科医師会が運営する口腔保健センターで対応。同センターは、20政令市中16市にあるが本市にはない。さいたま市民の利用者数は、把握していない。



**小柳の視点** 県関連施設の利用者も急増している中、本市民の利用数の把握が出来ていないとのこと。まずは、正確に現状把握をし、県施設の収容力も勘案して対策を急ぐべき。麻酔治療を必要とする障がい者が、数か月待ちというようなことのないように。

### 3 ノーマライゼーション条例施行から5年目を迎えるにあたって

Qノーマライゼーション条例制定から、まもなく5年になる。4月には障害者差別解消法が施行になる。条例の附則に5年を目途に再検討とあるが、現状を問う。

A障害者政策委員会や「誰もが共に暮らすための市民会議」、ホームページなどで広く意見を伺っている。条例の周知不足やグループホームの不足、手話言語条例に関する意見がある。同法に定められる職員の適切な対応要領の作成準備作業に取り掛かっている。



**小柳の視点** 同条例は、有識者だけでなく、障がいの有無にかかわらず市民が意見交換を行う100人委員会の議論を経て策定された。市民が広くその趣旨を共有できるよう、進めてほしい。